

報 新 報 お だ て

NO. 70

(毎月 1 回発行)

発行 昭和36年12月10日発行
発行所 秋田県大館市役所
編集兼 竹内福哉
発行人
印刷所 小野印刷所

- 1~10日, 雇用促進旬間
- 4~10日, 世界人権週間
- 15~28日, 年賀郵便特別取扱い
- 下旬, クリスマスツリーと門松の白肅運動
- 12月いっぱい
 - △歳末たすけあい運動
 - △年末年始郵便貯金増強
 - △歳末の犯罪防止運動
 - △歳末の火災防止運動
 - △税金の年末調整

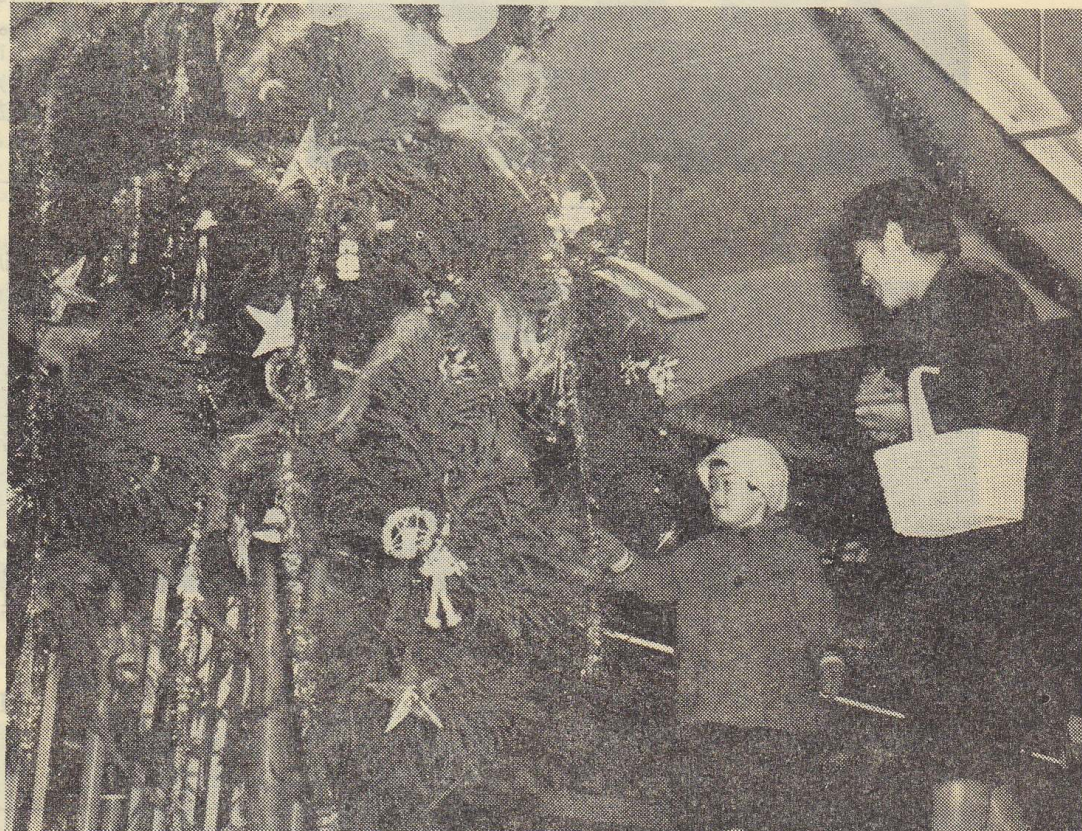
- 本紙記事
- 1面=郷土のしおり
 - 2面=歳末に10周年の記念式典
 - 3面=受彰者の横顔, 記念事業三つ, 成人名簿に載っていますか, 新入学児の就学前健康診断日程
 - 4面, 5面=国体の力を活そう, 成功は市民総参加のたまもの
 - 6面=中小企業者の年末金融を緩和, 工業統計調査印鑑登録を新しく, 納税の入選作文と標語, 多収穫品評会, 名刺交換会

「しはす」, ジングルベルが街に流れ, 路ゆく人人の足もとにも, おしせまった年の瀬のあわただしさを感じます。店さきにクリスマスツリーが飾られ, 歳末の売り出し合戦がはじまると, 一層消費者の買い気をあおります。暮はなにかと出費が多いもの, 計画をたてて, 明るい年末年始にそなえる工夫が大切。

12月は歳末たすけあい運動の月間です, 恵まれない人人にも, 愛の手をさしのべましょう

歳末はまた一年中で一番犯罪が多い, スリや空巣には特に注意が肝心です。

寒さは日ごとときびしくなります。抵抗力の弱い子供や老人にカゼをひかせないように, たん白質, 脂肪, ビタミンA・Cなど栄養の補給。住いや冬の, 衛生に注意したいものです。



郷土のしおり

芝谷地

大館市の天然記念物……④

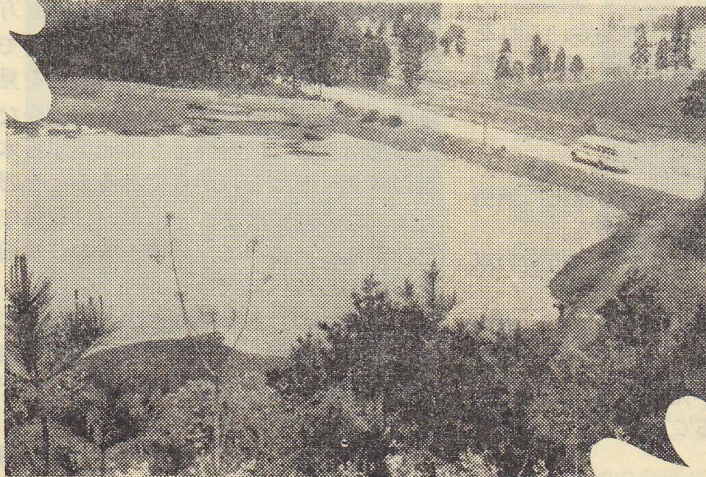
芝谷地湿原植物群落

大館駅から約4軒, 国道7号線を釈迦内方面にすすめば左側に面積0.05平方軒の浅水をたたえた湿原があります。これが芝谷地湿原植物群落地です。

芝谷地にはサワギキョウ(キキョウ科) タヌキモ(タヌキモ科, 食虫植物) ミミカキグサ(同) ムラサキミミカキグサ(同) ホザキノミミカキグサ(同) レンゲツツジ(ツツジ科) リョウブ(リョウブ科) オオバウメモドキ(モチノキ科) イヌツゲ(同) ノリウツギ(ユキノシタ

科) モウセンゴケ(イシモチソウ科食虫植物) アサヒラン(らん科)ネジバナ(同) トギソウ(不明) ノハナシヨウブ

(アヤメ科) ミズキボウシ(ユリ科) テンツキ(不明) ハリイ(カヤツリグサ科) チゴグサ(ホモノ科) アギナシ(サジオモダカ科) ミズゴケ(アザミ類)の21種類の植物が自生しており, 学術上有益な植物であるところから, 昭和11年9月3日天然記念物として県の指定を受け保護されている。(写真は芝谷地湿原植物群落)



厳肅に10周年の記念式典

全市民的祝賀行事は明春



11月23日、勤労感謝の日を卜して、市制施行10周年の記念式典を挙りました。

会場となった鳳鳴高校講堂には、市内各界の代表者、来賓ら750名余が参列、国歌斉唱のうちに、簡素にして厳肅な式典がくりひろげられました。

この日、大館市の行政、産業、社会、教育等に功勞のあつた、中田儀直氏、桜場文蔵氏、鎌田茂治氏、荒谷武三郎氏、月居八子氏の五氏を表彰。また大館商工会議所、大館市連合婦人会、日赤奉仕団大館支部、大館婦人会の4団体にそれぞれ感謝状を贈呈して、その功績をたたえとともに、10周年を意義あらしめるための記念事業の発表があつて、正午すぎ式典の幕をとじました。

10周年記念行事は、市制記念日である4月に、全市民の祭典として多彩に行う予定でありましたが、80年に一度という国体等の關係から、実施の時期がズレたため、これらの行事は、復興祭(仮称)とあわせて明年にもちこすことにしています。

しかし、これらの行事は、火災復興の完成とあわせて、明年実施したいと考えている。

従つて今回は、一番意義をもつ式典として、陰に陽に、大館市の発展に尽された方々に対する表彰式を中心に、厳肅な式典を行うことにしたわけである。

今日受彰される方々は、大館市を誕生させるために、また現在の大館市を築きあげるために献身的に尽された方々であつて、選衛委員会の虚心担懐な詮議の結果選ばれた、何人も異議をさしはさむことのできない立派な方々である。

10周年にあつて、6万市民とともに謹んで感謝をささげたいと思う。

幸い今日は最近にない好天に恵れ、皆さんと共に心から10周年をお祝いしたい

市長あいさつ要旨

“他動・自動” 激動の10年

大館市が発足してから10年を迎えた。当時は人口は3万人余で、日本一小さな市だともいわれたが、あれから10年、人口も6万をかぞえる県下第3の都市にまで進展した。

10年一昔と云われるが、激動をつづける最近の世の中では、10年が十昔にも百昔にも数えられるような時代であるから将来を案じ、道を誤ることのないようにいま一度過去をふりかえり、そして将来に対する覚悟を新にしなければならない

この機にあつて、大館市の指導的立場にある皆さんと共に、10周年をお祝いできることは、まことに意義深いものがある。

顧りみるに大館市の10年は、世相を反映した激動の10年であつたと同時に、大館市独自の激動の10年でもあつた。

昭和26年の市制施行に対する基礎固めいわゆる発足時代の苦しみから、これを育てる揺籃期の苦しみ、そして30年1町5村の合併による、統一ある大館市をつくりあげる創造期の苦しみがあつた。

加えて26年の大水害、28年、30年、31年と相次いだ大火は、大館の歴史に類例のない空前絶後の大災害である。

合併と火災復興、これが大館市政の車の両輪となつた10年でした。

幸い、市民の皆さんの努力と、ご協力を得まして市政の実があがり、火災復興も完了の時期をむかえた今日、ここに10周年をお祝いできることを思えば感無量なものがある。

市制の記念祭も、初年、3年、5年と

その実施を計画したが、つづげざまな災害によって流れ、7年祭も満足にできなかったという、いわばお祭に恵まれないままに過ぎてしまつたが、10年目の今日時を得て、ここに立派な式典をあげることができて、ほんとうに嬉しい。

よくをいえば、大館市の市制記念日は4月1日であるので、その日に全市民の祭典として盛大に行いたいと考えていたのであるが、80年に一度といわれる国体等の關係で時期が延び、11月も下旬という気象条件から、いろいろな行事をあわせてできなかったことが残念である。

ほんとうのスタートはこれから

市長あいさつに次いで渡部市議會議長「10年間には幾多の困難に直面した。しかし先輩の立派な基礎づくりと、よき方向づけを活し、6万市民が謙虚な気持で一丸となつたことが、これらの難関を見事に突破し今日を得た。大館市が立派な地方都市として、内外ともに充実する本場のスタートはこれからであることを思えば、この経験はまことに尊い。10周年をむかえるに当つて、今後一層のご精進をお願いしたい(要旨)」

とあいあつがあり、つづいて秋田県知事(代理) 県議會議代表中田直敏氏、近接町村を代表して合川町長らから、それぞれ祝辞が述べられました。

衆議院議員石田博英氏からの祝電披露ののち、表彰状、感謝状の贈呈と、受彰

者からのおことばがあつて、式典は万場拍手のうちにすすめられました。

市役所の勤務時間変更のお知らせ

12月1日から、明年3月31日まで市役所(出張を含む)の勤務時間が次のように変更されましたから、よろしくご協力ください。

○月曜日から金曜日までは

午前9時から午後5時まで

○土曜日は

午前9時から午後零時30分まで

※平常日の休憩時間は正午から午後零時30分まで

受彰者の横顔

大館市に功献された数多い個人や団体の中から、受彰者選衡委員会の数次にわたる詮議の結果、晴れてこの日の受彰となつた個人、団体はつぎのとおりである。(敬称略、順不同)

個人表彰者



地方政界の長老

中田 儀直 (74才)

氏は国会議員、県議会議員および大館町長として、戦後の混乱を処理し、今なお地方政界の長老として、大館市の進展に寄与し、また株式会社大館製作所社長として地方産業の開発に功献している。



市制の生みの親

桜場 文蔵 (78才)

氏は多年大館町長として町勢の発展に尽力され、また幾多の困難を克服して市制施行を実現し、今日の大館市の基礎を確立。市勢の伸展に寄与された。

感謝状

大館商工会議所

市制発足と同時に誕生、相次いだ大火により壊滅的打撃を蒙った商工業の再起と経営指導に尽力し、会議所本来の使命達成に献身している。

大館市連合婦人会

単位婦人会の育成指導と、婦人生活の改善に実をあげ、またその活動を通じて市の各種行事に協力し、殊に第16回国体には卒先協力するなど、社会生活の改善と向上に寄与された。

大館市日赤奉仕団

多年市内の浄化運動を實踐し社会行事等には献身的協力を惜みず、第16回国体をはじめ、各種の社会活動に卒先協力、社会福祉の増進に寄与された。

大館市婦人会

第16回国体では開雇地婦人会として、選手の歓迎、接伴等献身的に協力し、ま



地域農業の先覚者

鎌田 茂治 (74才)

氏は、多年にわたり寒冷地稲作、畑作物の品種改良および安定増収等、農業技術の研究に専念し、卒先農民に普及指導して、地域農業の発展に寄与した。



暗い世の中の灯

荒谷 武三郎 (76才)

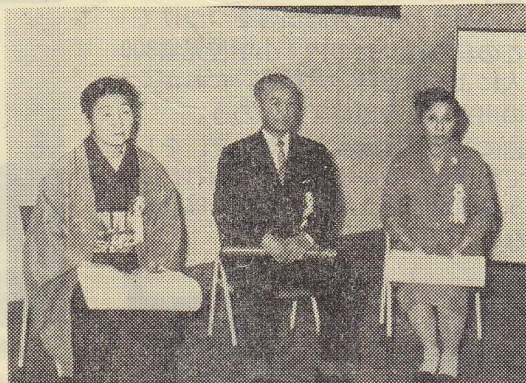
氏は、多年司法保護司、民生委員の職に任じ、終始一貫よく人心の善導に献身し、自ら範を示して社会福祉の向上に寄与された。



女子教育に専念

月居 八子 (58才)

氏は、女子教育施設に乏しかった昭和7年、私財を投じて学園を創設し、爾来30年、女子の教導を通じて地域社会に功献された。



た平素その活動を明るく親切な街づくりにむけられ、福祉社会の建設に尽力された。

(写真は左から、日赤奉仕団会長代理高橋みねさん、商工会議所会頭緑川正雄氏、大館市婦会副会長佐々木忍さん、欠席者は連合婦人会長石田よしさん)

記念事業3つ

この日10周年を一層意義あらしめるため3つの記念事業が発表されました。

- ①「大館市民歌」の制定 市民歌の作詞作曲を一般から公募して、明年の市制記念日に発表会を開きたい。
- ②「各戸に記念植樹」 苗木を無償配付して記念植樹を行い、各戸に10周年を永く記念していただく。
- ③「市制10年史」の編纂 市制10年のあゆみを記録にとどめ、初期の大館市を将来に伝える。

成人名簿に載つて いますか

1月15日は成人の日、市では恒例によって成人式を行いますので、12月10日までに成人名簿の原稿をつくります。これは住民登録台帳によってつくりまますので、12月10日以後の転入者はもちろん、その直前の転入者は名簿もれになることが考えられます。また実際には市内に居住しながら住民登録をしていない方もあると思われるので、このような方々はすぐ市教育委員会へご連絡ください。なお成人になれる人は、昭和16年1月16日から17年1月15日までの出生者です。

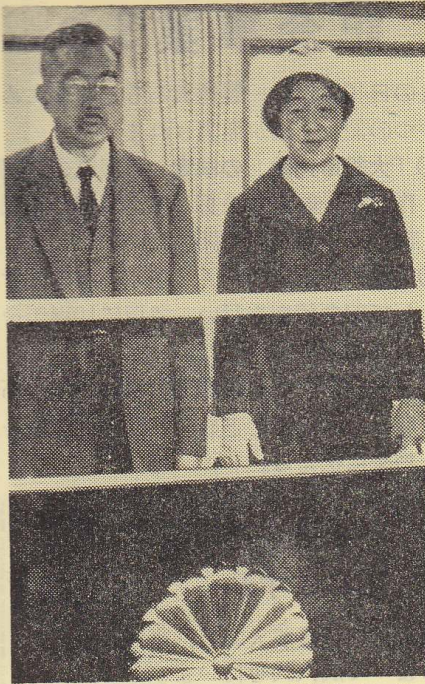
新入学児の就学前 健康診断日程

昭和37年4月小学校に入学する児童の就学前健康診断が次の日程で実施されますから必ず受診してください。

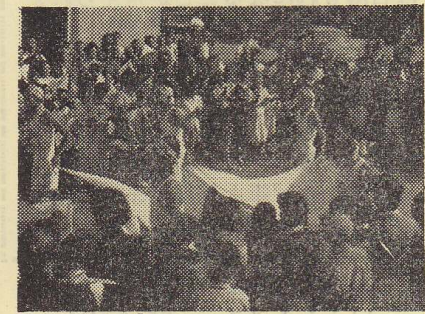
◇該当者 昭和30年4月2日から、昭和31年4月1日までの出生者。

◇場所 新入児の入学する学校で行う。

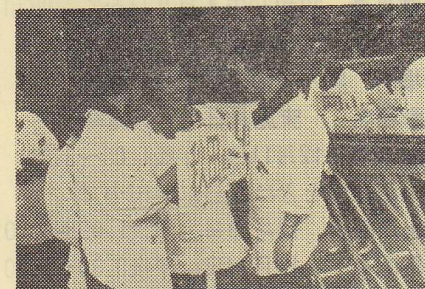
学校名	実施月日	実施時間
○杉沢小	12月11日	午後1.00~3.30 (雨天のときは24日二井田小で)
○上川沿小	12月13日	午後1.00~3.30
○雪沢小	12月14日	午後0.30~1.30
○真中小	12月14日	午後1.00~3.30
○城南小	1月10日	午後1.00~3.30
○成章小	1月10日	午前9.00~3.30 (上新, 上町, 中町, 下町, 大滝は午後1.00~3.00とし、それ以外の町内は午前9.00~正午までお出ください。)
○有浦小	1月12日	午後1.00~3.30
○長木小	1月18日	午後1.00~3.30
○二井田小	1月24日	午後1.00~3.30
○川口小	1月25日	午後1.00~3.30
○城西小	1月26日	午後0.30~3.30
○桂城小	1月26日	午後1.00~3.30
○釈迦内小	1月27日	午後1.00~3.30



10月11日、天皇、皇后両陛下がお揃いでお成り、鳳鳴会場をご覧になりました。天皇陛下が大館にお立寄りになったのは、昭和22年以来14年ぶり。皇后陛下は始めてのお出です。



国体旗は、前回の開催地熊本から2000キロ、延20,000人の若人によってリレーされて、由利郡小砂川の県境で引き継がれた。これより県内を巡回、10月1日に大館入り、翌2日、田代町～鷹巣方面へリレーされた。



10月8日の開会式を前に、4日頃から選手たちは、ぞくぞくと大館入りホームや駅頭には婦人会の方たちが繰出、さかんな拍手でお迎えました。(上、プラカードを手に列車の

国体の力をみ

成功は市民

80年に一度といわれました。第16回国体も、極めて好評のうちにその幕をとおろすことができました。これは一重に市民のみなさんのご協力の賜でございまして、心から厚くお礼申し上げます。

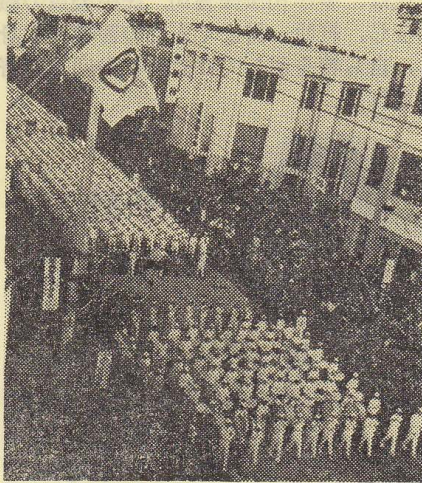
遠く沖縄をはじめ、全国の各地から初めて、わが大館を訪れた1500名余の選手役員の人たちも、6万市民のまごころの歓迎と、心づくしに接し、さぞ深い好印象を土産に、おもち帰りいただいたと信じます。

そしてこの好印象が今後永く大館市の土地や、市民性を評価する尺度ともなることでしょう。今後大いに発展しようとする、わが大館にとって、これはまた大きなプラスです。

私には、この国体が、大館市にまた一つ大きな意義をもたらしてくれたと思います。と申しますのは、ふりかえつて、この第16回国体が、貧乏県、後進県といわれた秋田県で、開催するということだけでも、果してやれるであろうかと心配をうけたものであります。まして、その県の中でも、わが大館は相次いだ大火によつて、財政的にもゆとりがなく、しかも復興の最中にあつたのですから、心配されるのも無理のない話であります。

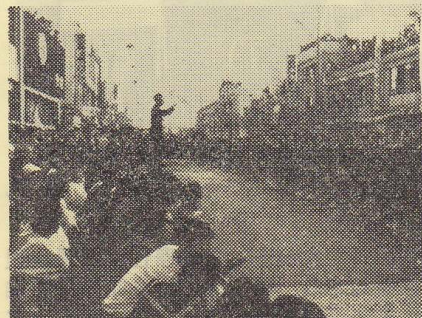
しかし、大館人はそんなに気の弱い市民性をもっているのでしょうか、決してそうではないのだ。連続の大火にもめげず、こんなに立派に街をつくりかえる力さえもっているではないか、私の心の奥底には、その気力、その意気地をもつ6万市民がついているのだ、という強い支えがありました。やれずにいられるものか、そうは思いながらも、何分にも期日に余裕がない。国体はすぐ目の前にせまつていることを考えると、気のあせるのも無理ありませ

到着を待つ婦人会員、下、選手のみなさんごくろうさまでした、さかんな拍手で迎える大館駅頭)



選手歓迎の集い。8月炎天下うだるような暑さの中で合同演習をつづけてこの日を待った市内4小学校児童800人による鼓笛隊の進行。だれがこの出来ばえを期待できたろう。

遂にきた国体のもりあがり、そして興奮を、じかにブツケられたような鼓笛の響きが未だに耳をはなれない。



選手歓迎の集い。

桂高校生徒 600人による合唱。屋外ステージならぬ街路ステージ?、大町通りいっぱいひろがる大合唱団の隊列である。

県民の歌、若い力、鳳鷹高校、一中、二中、三中の合同ブラスバンドにあわせての大合唱は四周を押し、観衆を魅了した。



選手歓迎の集い。

市内松木、谷地町、大下町の有志による獅子舞。奴子、棒使い、獅子舞と郷土芸能の粋をあますところなく披露した。農繁期の最中、この日のために春以来寸暇も練習に励んだのだ。奴子を舞うこの子たちも。(写真上、獅子舞、下、奴子踊)

みんなで活そう

総参加の賜

んでしたが、しかし私の心配をよそに、大館市の国体に対する気運が急速にもりあがりを見せてきました。各種競技団体はもとより、小学校の子供から、家庭の主婦、協力団体、そして町中が国体一色になりました。私はしみじみと大館人の底力に敬服しないではいられませんでした。

気運は気運をよび、競技施設はもとより、宿泊、輸送、歓迎の体勢等、国体準備は急テンポにすすめられ、そして晴れの日を迎えました。つぎつぎに到着する選手を、温かく迎える主婦たち、そして水い月日、この日のために練習された前夜祭の見事さ、すばらしさ。会場、練習会場とつきつぎりの湯茶の接待等々と数えきれない。大会の運営もその円滑さが賞讃されていた。

5日間の大会を滞りなく閉じて、会場一杯に「別れの曲」が流れ、市民の拍手に手をふつて別れを惜む選手たちの後姿を眺めたとき、私は不甲斐なくも涙を押えることができませんでした。

これまでになし得た市民性の強さ、立派さ、ありがとう、よくやつてくださいましたと、ただただ感謝の念でいつぱいでした。

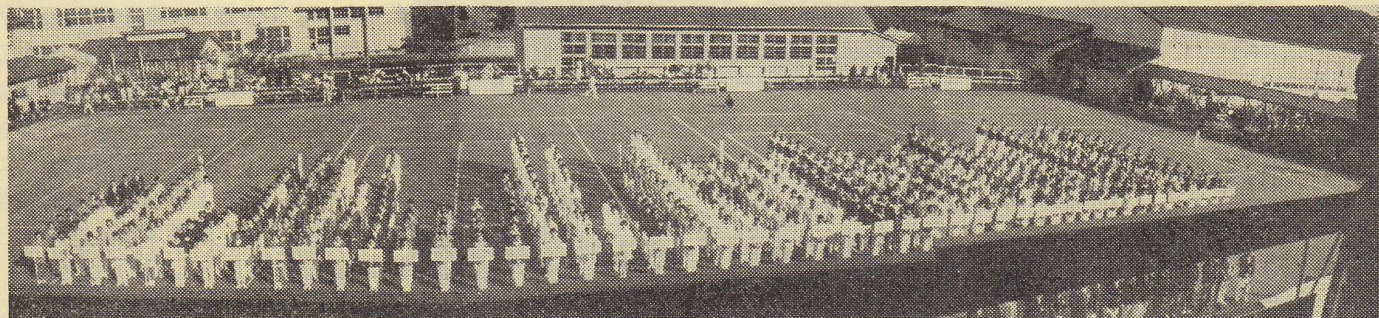
華やかな表面の陰にあつたもの、それは努力であり、協力心であります。私は大館市の将来のために、大くの犠牲を犠牲とも思わず、笑つて尽された市民性のよさを改めて確認した気持で大きな自信と責任を感じました。

大館市の市民性、それは何物にも屈せず、一致すれば何事をもなし得る力をもつております。どうか国体を契機として、いま一層大館市勢の進展にご協力くださるよう心からお願いする次第です。

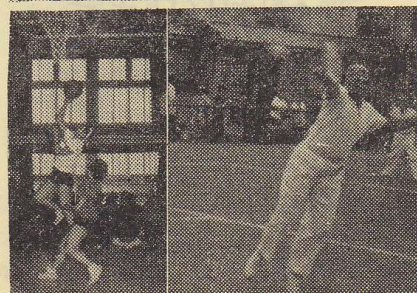
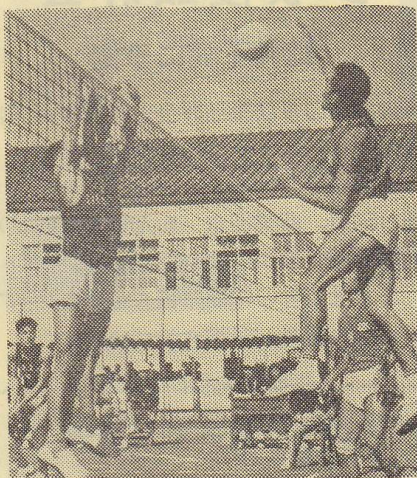
市長 佐藤敬治



選手歓迎のつどい。南は沖縄、北は北海道のはてまで、全国各地から初めて大館を訪れた選手や役員。この人たちの旅の疲れを癒し、旅情を慰め、最上のコンディションで競技に臨んでもらいたいものと、この日の民謡踊に参加した主婦たちは、ざつと500人以上。忙しい家事に暇をつくって、長い間の練習が、こうも立派に実つたのだ。揃いのゆかたに、成功の希いをこめて、大町、鍛冶町いっばいに円陣をとつてくりひろげたまは華麗であり、壮観であつた。国体の担い手、婦人会の活躍は、そのもりあがりとともに一層国体にとけこんでいった。



かくて10月9日、大館会場で行われるバレー、バスケット、テニスと、三種目の競技の幕が切つておとされた。郷土の名譽を担い、晴れて参加した選手およそ1,500人。開会式にははさすがに緊張と闘志をたたえていた。(写真は鳳鳴会場におけるテニス開始式)



こうして11日には天皇、皇后両陛下をお迎えし、翌12日には秩父宮妃殿下を会場へお迎え、参加選手たちの士気は一層鼓舞された。(上、秋田犬

をご覧になる両陛下、下 秩父宮妃殿下)

一般にはあまりなじめない種目との心配をよそに、会場は連日大入満員。観覧席からの拍手が絶えない。



こうして5日間に亘つた国体は大成功のうちその幕をとじた。来年は岡山で、別れを惜しむ選手たちのまなざしは、感激にかがやいていた。「ありがとう」「元気でね」まごころの第16回国体は市民の総参加で立派に成功したのだ。

中小企業者の 年末金融を緩和

市では市内中小企業者の年末金融対策として、株式会社秋田相互銀行大館支店に300万円、大館信用組合に300万円の合計600万円を予託しました。

これは年末にあたって、市内の商工業者の金融を緩和するためとられたもので予託された金融機関では、この額にできるだけの自己資金を加えて融資の便をはかることになっています。

予託契約によると、貸付期間は、昭和36年12月から37年の2月末までの3ヶ月間で、貸付の最高額は30万円、利率は日歩2銭4厘以内となっています。この融資は中小企業者へ平等に広く利用されることになっていますが、利用する際は市の発行する適格証明書（中小企業者であることを証明するもの）の交付をうけなければなりません。詳しくは市商工課へお尋ねください。

工業統計調査

12月31日現在で工業統計調査が実施さ

れます。この調査は通商産業省が毎年この時期に行なっている指定統計で、わが国の製造業の実態を把握し、通商産業行政の施策や、学界の経済分析、企業者の

印鑑登録を新しく

— 1月から印鑑条例変る —

市の印鑑条例が昭和37年1月1日から全面改正になります。これによると印鑑登録の申請、変更、登録の拒否、記載事項の変更、証明等の手続き規定が整備されたほか、現在すでに登録している印鑑でも2年以内に登録替えをしなければならぬことになりました。

近年全国的に印鑑の事故がふえていますが、これは従前印鑑の登録や証明の交付が簡単な手続き規定のもとでなされたいわば盲点をついた請求手続き等によるもので、例えば印鑑登録にしても、委任

参考資料として役立つ事がねらいです。この調査の対象となる事業所は、一般に工場とか、作業場とかいわれるもので規模の大小は問いません。製造して、これを一般の家庭消費者以外に販売するすべての事業所です。

1月の下旬調査員が調査に訪問いたしますから、よろしくご協力くださるようお願いいたします。

状さえあれば誰れでもできる、こんなところに問題があります。本人の知らない間に勝手に登録し、勝手に証明の交付をうけないとも限らないのです。

そこでこんどの規定では、印鑑登録の申請にあたって、本人が病気、その他やむを得ない事由によって代理人で登録する場合でも委任状のほかに、その事由を証する書類を添えて申請をしなければなりません。また登録してある印鑑の証明交付を代理人請求するときでも、本人の意志であることが確認できないような場合は、証明の交付を拒否することができるなど、印鑑による事故が防げるようになってきています。37年1月からは印鑑の登録も、証明の交付、記載事項の変更なども新しい条例によって行なわれますが、現在すでに登録している印鑑でも、なるべく早く登録替えをいたしましょう。

でもこれからは、その人たちも税金のありがたさが、わかってくるでしょう。

ですから、これからはさいそくされなようになつていくかもしれません。

(入選標語)

○伸びる大館笑顔で納税

城南小学校5年 長内 誠

○よい子のための学校も

心のこもった税金で

城南小学校6年 福岡 悟

成果あがる窓口収納

市では昭和36年度から税の窓口徴収を実施しましたが、納税者各位のご協力を得て、大変好成绩をおさめています。これによりますと、市民税では前年の同期より約2%、また固定資産税では3%強市税全体からみても5%も収入率が増加しています。

税金は市民全体の利益のために有効に使われるべきもので、税金を収納するために税金を使うようなことは、まことに無駄なことです。滞納をなくして、税の窓口徴収に一層のご理解とご協力をお願いします。

多収穫品評会

12月下旬に予定

大館市の多収穫品評会と報賞授与式は今月下旬行なう予定になっています。

この品評会は年々さかんで、今年は水稻150点、野菜60点（かんらん、白菜）堆肥50点の参加になっています。

また受賞者の体験発表もあるとあっていまから盛会が予想されています。

新年祝賀名刺交換会

受付は27日まで

恒例の新年祝賀名刺交換会を、1月1日午前11時から、市立第一中学校で行います。参加を希望される方は12月27日まで、会費250円を添えて市総務課へお申出ください。

— <入選作文 その2回> —

税金は早く納めよう

釈迦内小学校6年 上村たづ子

私の家は、税金のさいそくを一回もされたことはありません。なぜかという米をだして、とったお金を一年毎にまとめて市役所にはらっているからです。

せんだつてのことですが、長面の橋がながされてしまいました。そのため、いちいちとおまわりをして歩きました。

それで私は、しみじみ心の中で「やっぱり税金は納めなければならないんだなア」と思った。私も前は「税金なんてなければよいんだけど」と心の中で思っていました。いまはその反対です。

今では橋を歩けるようになったので、とても便利です。

家のおばあさんは、どう思っているかと思って「税金があればよいか、それともなければよいか」と聞くと、「税金があるおかげで橋があるからネ」とありがたいように云いました。私はやっぱり家のおばあさんは、物わかりがよいなアと心の中で思った。私もおばあさんの意見に賛成です。

よその人は、きっと税金がなくなればよいと思っていることでしょう。